

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

学校教育目標

自ら考え 行動する子

第12号 令和6年2月29日発行

開校150周年



学校のことを大切に

事務職員 三上 あかね

山越小学校では、昨年度より児童向けの備品展示会を行っており、その年に購入した備品を廊下に並べ、保管場所・使い方・金額を書いた紙を添えて展示しています。備品展示会を行う目的は、子供たちに備品の有効活用と学校のことを大切にする意識をもってもらうことであり、展示されている備品は、子供たちが自由に触れて使うことができます。

さらに、税金に興味をもつきっかけにもなればと思い、税金に関する掲示も並行して行うようにしています。今年度は、財務省主税局発行の「うんこ税金ドリル」を活用しました。「うんこ税金ドリル」では、税金のある世界と税金のない世界の違いを探しながら、税金の使い方を学ぶことができます。子供たちは、違いを探すことで、税金のない世界では火事が起きても消防車が来ないことや体調が悪くても気軽に病院に掛かれないことなどに気付くことができました。

こちらは、財務省のHPから閲覧することもできます。興味がありましたら、右のQRコードを読み込んでご覧ください。（児童には昨年12月に冊子で配付しています）



学校は、そのほとんどが税金で成り立っています。備品や教科書をはじめ、消耗品や光熱費、八雲町に関しては児童分の給食費も税金で賄われています。しかし、税金の仕組みを知らなければ、それらのありがたみも薄れてしまいます。税金は、みんなで支え合ってより良い社会をつくるための仕組みです。小学生、特に低学年にとって、その仕組みを理解することは少し難しいかもしれませんが、学校のことを大切に扱ったり給食を大事に食べたり、そういったところから自分も社会の一員として、たくさんの人々と支え合って生きているということを感じてもらえたら嬉しいと考えています。

3月行事予定

1 金	全校集会 クラブ⑨	20 水	春分の日
4 月	5時間授業	21 木	午前授業（給食あり） 大掃除 卒業式後片付
6 水	5時間授業 移動図書	22 金	午前授業（給食なし） 修了式・離任式
8 金	児童会⑫	25 月	学年末休業開始
13 水	5時間授業 卒業式総練習		
18 月	午前授業（給食あり）		
19 火	第122回卒業式		

次の学年に向けて（1・2年生）

早いもので、もうすぐ1年の終わりを迎えようとしています。学習では、まとめの時期になります。

算数では、1年間で学習したことを振り返りました。「なつかしい」「ちょっとここが苦手」「ここは好き」等、子供たちは、学習したことを思い出しながら感想を発表しました。

「算数の何の勉強ができるようになりたい？」と尋ねると、1年生では「ひき算と式を考えるとこころ」、2年生では「時計と長さ」「箱のかたち、長方形のこころ」といった返答がありました。2年生の2人に共通しているのは、「九九と文章問題」でした。理由を尋ねると、「よく間違えるから」「苦手だから」等の反応が返ってきました。

「できるようにするためにどうすればいいのかな？」と問いかけると、「練習する！」と元よく答え、自分で取り組もうという気持ちが見られました。これからの算数の学習では、自分で学習する内容を考えて復習に取り組み、学んだことを確実に定着できるように支援していきます。

お家で学習している時には、温かく声をかけ、背中を押していただければと思います。



6年生を送る会（5・6年生）

2月22日（木）、今年度最後の参観日では、6年生を送る会が行われました。多くの保護者の皆様に子供たちの頑張りや成長を見ていただきました。

6年生は、これまでの6年間をふり振り返り、自らの成長や中学校生活に向けての抱負を発表することができました。この「自分の現状を把握して次の課題に向かう力」は、これからの学校生活や社会の中でとても大切な力になります。

5年生は、瑠乃さんの思い出をスライドショーにまとめて発表するとともに、児童会としてレクリエーションの企画・運営を行いました。準備期間には、休み時間に話し合っルール調整をしたり説明の仕方を考えたりしました。当日は、皆さんに見守っていただきながら、それぞれの役割をしっかりと果たすことができました。これまで、6年生が先頭に立って導いてくれた児童会活動を、次年度は5年生3人が中心となって進めていきます。

年度末、進学・進級で気持ちが落ち着かなくなる時期ですので、ご家庭でのサポートをお願いします。



感謝を伝える（特別支援学級）

3回目のなかよし学習は、「卒業生をお祝いしよう」という内容でした。

「さてどんなお祝いをしようか。去年はキツネダンスだったので、今年は…」といろいろ考え、あおぞら学級の2人が1年間継続して取り組んで身に付けた力を使ってお祝いしようと計画しました。

その一つは「言葉」です。毎日たくさんの言葉に触れながらハキハキと発声することで、話す力を付けてきました。時には歌ったり早口言葉をしたりしながら、話すことにチャレンジしました。

本番では、堂々とした態度で卒業生へのメッセージをスラスラ話すことができ、とても立派でした。

もう一つ身に付けた力は、音楽で伝えることで、ベートーベンの第九「喜びの歌」を、ハンドベルを使って演奏しました。6つの音を3音ずつ分担し、息を合わせて素晴らしい演奏を届けることができました。



おめでとうございます

八雲町青少年健全育成書道展に3年生以上が作品を出品し、次の2名が入賞しました。

○小学生中学年の部
入選 小島千弦さん
作品 「力」

○小学校高学年の部
佳作 三浦瑠乃さん
作品 「正直な子」

22日に行われた表彰式には小島千弦さんが出席し、賞状と記念の盾をいただきました。



楽しく交流できました

今年度、野田生小学校と遠隔授業（5・6年道徳）や合同学習（水泳・スキー・遠足）を行い、年間を通して交流を深めることができました。普段の授業とは違う子供たちの姿を見ることができ、大変有意義な取組となり、来年度も継続する予定です。

